

＼かごしまの地域を元気に！／  
共生・協働の地域社会づくり

指宿市 NPO法人本と人をつなぐ「そらまめの会」

# 地域に根ざした 図書館づくり



指宿図書館を利用してみんなで勉強中

「私たちは、図書館の職員として、地域へ出かけ読み聞かせを行っています。子どもたちは目を輝かせ、年配の方々は、鹿児島弁での語りかけに喜ばれているようです。本当にやりがいがあります。図書館の運営を通して、本の素晴らしさを伝えていきたいと考えています」と館長の下吹越 かのるさん。下吹越さんは、NPO法人本と人をつなぐ「そらまめの会」の副理事長。この法人は、指宿市の指宿図書館と山川図書館の運営を任せられている。

もともとは、本と触れ合う機会を増やし、本を読む楽しみを知ってほしいという思いで、保育士や学校司書、図書館利用者などで、地元の図書館をサポートするためのボランティア活動を行ってきた。10年以上変わらなかつた壁面装飾の作成や、子どもたちへの読み聞かせ会など、地道に活動を続ける中で、指宿市の図書館に指定管理者制度導入の話が持ち上がった。「活動拠点の図書館は、利用者が少なく暗いイメージがあり、もっと明るく、住民が気軽に集える場所になりたい。指定



「ふれあいデー」で読み聞かせ会

管理者になることで、自分たちの活動の幅を広げることができるとは、まず行政と民間の中間的な存在であるNPO法人になることを選択しました」と語るのは、理事長の出森 聡子さん。平成18年10月にNPO法人を設立後、平成19年4月から指宿市の図書館の指定管理者として、指宿図書館と山川図書館を12人体制で運営し、司書資格を持つ9人の職員を長期的に配置することで、図書館運営や活動の効率化を図っている。



親子でお好み焼きづくりに挑戦!

図書館の運営に民の視点を取り入れ、冒頭に紹介した、職員が幼稚園や小中学校へ出向く出張おはなし会のほか、妊婦を対象とした本の紹介や、働く主婦のための夜間のおはなし会、鹿児島国際大学での講座、絵本に出てくるお菓子づくりなどに挑戦する子育て支援事業など活動内容は多岐にわたる。また、ほかのNPO法人と連携して、職場体験の受け入れや積極的に地域と連携した取り組みにも力を入れるなど忙しい。

指定管理者となつて3年が経過し、利用者数も年々増加して、NPO法人の活動も理解されてきた。「NPO法人といつても最初はなかなか理解されなかつたのですが、図書館運営を通して、少しずつ市民の皆さんの理解が得られてきました。気軽に利用していただける場所にしていくため、書籍管理の電子化や地域雇用の拡大にも

積極的に取り組み、指定管理者として長く図書館業務に携わっていくことで、さらに法人として信頼され、地域に根づいた図書館運営ができるのではないのでしょうか。その為にも、今後は、将来を見据えた後継者の育成が大切になってきます」と出森理事長。

NPO法人本と人をつなぐ「そらまめの会」の活動により、本と人々が結びつき、心豊かな地域社会が形成されることを期待している。

## 代表者からひとこと

NPOを設立して3年の月日が過ぎました。「そらまめの会」の活動や「公共図書館運営」を行う中で、本を通じてたくさんの出会いがありました。今後もNPOの良さを活かし、人と人との出会いを大切にしながら、多くの笑顔に出会っていききたいと思います。



NPO法人本と人をつなぐ「そらまめの会」  
出森 聡子 理事長

## 共生・協働の地域社会づくりやNPO法人に関するお問い合わせ先

- 共生・協働推進課(県庁9階) TEL.099(286)2241
  - 共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL.099(221)6613
- 関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。